

はじめに

この本の主人公は、私。高橋理恵です。

私は高校卒業後、愛知県の警察官として20年近く勤めました。今はいろいろありまして、幼少より好きだった占いを仕事として、名古屋市港区の自宅を中心に活動しています。

ある日のことです。

「仕事で成功している人たちは必ずと言っていいほど、メルマガやブログなど、動画ではなく活字で毎日なにかしら配信をしている（きた）人たちです」

ということを知りました。

自分の中で「成功」がどういうものなのか、いまだはつきりとしていませんが、そのことが本当かどうかを確かめてみたくなりました。

それまで私は、1週間に1回ぐらいのペースでブログを書いていましたが、早速、連続100日間書きつづけることにし、その間に奇跡が起こるのをなぜか信じていました。

それから約3週間経ったある日のこと。出版社の方から「本の出版に興味はありませんか」と、メールで声をかけていただきました。

それには本当に驚きました（笑）。100日経たなくても、まさかの出来事が起こるなんて！しかし、そこは疑い深い私。なぜ私に声がかかったのか。ブログに書いていた内容は、仕事である占いに関することだったり、日常の出来事を日記として書いているものだったり、「一体、誰が私の話に興味を持ったりするのだろうか？そもそも本にする価値があるのだろうか？」という、疑問が湧き上がっていました。

そうはいってもその昔、占い師として「いつかは本を出してみたい！」と、思っていました。が、いざ、声をかけられると、さすがに尻込みしてしまいます。

でも、出版とは、どういうもののかを知りたいという知識欲が強かったので、話だけでも聞いてみよう、それにリポートだし「まあ、いっか」と、興味が勝ったので、出版社の方の話を聞いてみることにしました。

話を聞いていると、なぜか私の人生を一冊の本にしないかと、打診され、これまたびっくり！出版してみたい気持ちと、恥をさらす内容もあるからやめておいたほうがいいだろうとの気持ちが交錯しながら、その日の話を終えました。

それからしばらく、モヤモヤして決めかねていた私です。ある日、馴染みの美容院で出版の話があることを話したところ、店長さんはじめスタッフの方々から「高橋さんの人生は、あんなこともこんなこともいろいろあったのだから、そのことに共感される方も多いと思いますよ。出版されたらぜひ読みたいです」と、言ってもらい「そうだ。私の人生が誰かの役に立つことがあるのなら。それに、自分の本を出版できるなんて、今までに体験したことのないワクワク感が半端ない！」と、出版を決意しました。

こうして書くことを決めた「わたしの人生ゲーム」。

そう、自分の人生の主役は、もちろん私です。占いで「波乱万丈の3年運」の運気を持つ私。それを知ってからは、大波小波。時には荒波もあつたりしつつ「自分の人生こんなものなのだろう」と、いつ死んでも後悔のないよう、一日一日を楽しんで生きています。この本を手にしたあなたの、なに

かしの役に立つことができれば幸いです。

それでは「わたしの人生ゲーム」。どうぞお楽しみください！